(ケース2) 学校・保育所の避難先・避難ルート



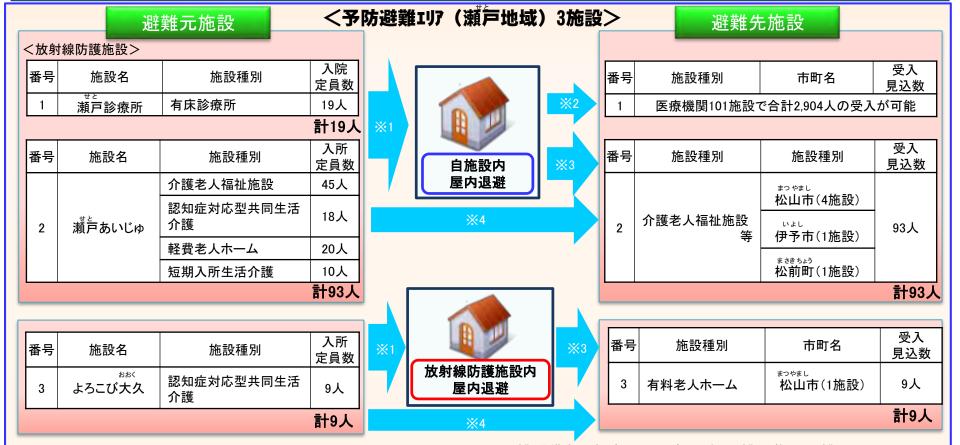
- ▶ 国道197号が瀬戸地域と三崎地域の境界で通行不可となった場合、瀬戸地域の学校及び保育所(引き渡しができなかった児童)の児童等については、施設敷地緊急事態において、陸路により避難経由所(松前公園)に移動し、保護者への引き渡しを実施。
- ▶ 三崎地域の学校及び保育所(引き渡しができなかった児童)の児童等については、施設敷地緊急事態において、海路及び陸路により避難経由所(松前公園)に移動し、保護者への引き渡しを実施。



(ケ-ス2) 瀬戸地域の医療機関及び社会福祉施設の陸路避難



- > 瀬戸地域の医療機関及び社会福祉施設(3施設約121人)について、個別避難計画を策定済であり、UPZ外の施設において、避難先を確保。
- 避難の実施により健康リスクが高まる者は、放射線防護施設において、避難に必要な準備が整うまで屋内退避を実施。その他の入所者等は、あらかじめ定められた避難先施設へ避難を実施。
- ▶ 予防避難エリアの医療機関については、愛媛県の緊急被ばく医療アドバイサーや災害医療コーディネータの助言を受け、愛媛県が避難先を調整。
- ▶ 何らかの事情で、あらかじめ選定しておいた避難先施設が活用できない場合には、愛媛県が受入先を調整。



- ※1 輸送等の避難準備が完了するまでは放射線防護施設内で屋内退避
- ※2 愛媛県の緊急被ばく医療アドバイサーや災害医療コーディネータの助言を受け、 愛媛県が避難先を調整し、避難準備完了後に避難
- ※3 避難準備完了後、あらかじめ定められた避難先施設へ避難
- ※4 健康リスクが高まらない者等は、あらかじめ定められた避難先施設へ避難

(ケ-ス2) 三崎地域の社会福祉施設の海路避難

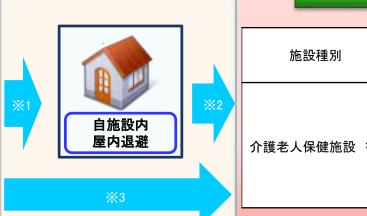


- みさ
- ➤ 三崎地域の社会福祉施設(1施設約50人)について、個別避難計画を策定済であり、UPZ外の施設において、避難 先を確保。
- 避難の実施により健康リスクが高まる者は、放射線防護施設において、避難に必要な準備が整うまで屋内退避を実施。その他の入所者等は、船舶の準備が整い次第、三崎港から、海路及び陸路により愛媛県内のあらかじめ定められた避難先施設へ避難を実施。
- ▶ 何らかの事情で、あらかじめ選定しておいた避難先施設が活用できない場合には、愛媛県が受入先を調整。

<予防避難Iリア(三崎地域)1施設>

避難元施設				
番号	施設名	施設種別	入所 定員数	
1	^{みさき} 三崎つわぶき荘	地域密着型介護老人福 祉施設入所者生活介護	29人	
		認知症対応型共同生活介護	18人	
計47人				

※1 船舶を含む輸送手段等の避難準備が完了するまでは 放射線防護施設内で屋内退避



避難先施設

施設種別	市町名	受入 見込数
介護老人保健施設等	មាគង 東温市(2施設)	48人

計48人

- ※2 避難準備完了後、三崎港に移動のうえ、海路及び陸路により愛媛県内のあらかじめ定められた避難先施設へ避難
- ※3 健康リスクが高まらない者等は、船舶を含む輸送手段等の避 難準備完了後、三崎港に移動のうえ、海路及び陸路により 愛媛県内のあらかじめ定められた避難先施設へ避難

(ケ-ス2) 医療機関及び社会福祉施設の避難先・避難ルート



- 国道197号が瀬戸地域と三崎地域の境界で通行不可となった場合、瀬戸地域の社会福祉施設は、施設敷地緊急事態において、陸路 によりあらかじめ定められた避難先施設に避難を実施。医療機関については、愛媛県の緊急被ばく医療アドバイサーや災害医療コーディ ネータの助言を受け、愛媛県が避難先を調整。
- 三崎地域の社会福祉施設は、施設敷地緊急事態において、海路及び陸路によりあらかじめ定められた愛媛県内の避難先施設に避 難を実施。
- 避難の実施により健康リスクが高まる者は、放射線防護対策を講じた自施設もしくは近隣施設において、避難に必要な準備が整うまで 屋内退避を実施。

